

2020年2月13日
日揮ホールディングス株式会社

2019年度第3四半期
テレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2020年2月13日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2020年2月13日）時点の情報に基づく内容です。

1. 2019年度第3四半期決算に関して

質問	回答
当第3四半期（3ヵ月）の粗利益率は9.6%と通期業績予想に対して若干上振れしているが、その要因について教えて欲しい。	主な要因は、海外案件におけるコンティンジェンシーの取り崩し、およびチェンジオーダーの獲得による採算改善である。
通期売上高の見通しは達成できそうか。	当第3四半期におけるLNGカナダプロジェクトの売上高は、第1、第2四半期と比較しても順調に伸びている。年度末にかけて当初の想定通り順調に進捗すると予想しており、通期売上高の見通しを据え置いている。
当第3四半期において、投資有価証券売却益が約20億円、投資有価証券売却損が約30億円発生しているが、内訳について教えて欲しい。 政策保有株の売却、および事業売却に伴う損益が含まれているのか。	連結子会社であった日揮みらいソーラー株式会社の株式および持分法適用関連会社であったRabigh Arabian Water and Electricity Companyの株式の売却などによるものである。 なお、政策保有株の売却は、当第3四半期には行っていない。
当第3四半期において、その他の事業セグメント利益が約2億円のマイナスになっているが、理由について教えて欲しい。	事業投資案件の売却などの特殊要因ではない。当該セグメントに属する企業での一時的なマイナスが要因である。

<p>昨年10月に受注したモザンビーク LNG プロジェクトの最終投資決定 (FID) はいつ頃を予定しているか。</p>	<p>年度内に顧客の FID が実施されることを期待している。</p>
<p>米国とイランの対立の影響により、一時的に中東情勢が緊迫化しているが、入札したイラクの製油所高度化プロジェクトの決定時期について教えて欲しい。</p>	<p>顧客の FID が年度内に実施されることを期待している。 中東情勢は、現時点では収束に向かっていっているように見られるが、引き続き状況を注視していきたい。 仮に、本プロジェクトのみならず他の受注期待案件の FID が、今年度に行われず受注計上できなかったとしても、各案件は4年から5年かけて売上計上していくことから、受注高については、単年度ではなく複数年度で捉えていただくのが適切であると考えている。</p>

2. 来期 (2021年3月期) 以降の受注および業績見通しについて

<p>来期の売上高水準について教えて欲しい。</p>	<p>今後、受注する案件の受注タイミング、および受注規模に応じて、変化するため、現時点ではコメントを差し控えたい。</p>
<p>足元で来期の入札案件に何か変化は出ているか。</p>	<p>具体的な案件に関しては、現在精査中であるため、コメントを差し控えたいが、全体感としては、これまでお話ししてきたように、海外オイル&ガス、海外インフラ、国内とも市場環境は堅調であるとみている。</p>

3. 不採算案件の状況

質問	回答
(過去に工事損失引当の対象となった) 案件に関し、現況を教えてください。	アルジェリアのガス昇圧設備建設プロジェクトは、本年度第 2 四半期に追加コストを計上したものの、現状は計画通り順調に進捗している。 同国のサテライト設備案件に関しても、順調に進捗している。 クウェートの製油所案件については、年度内の顧客への引き渡しに向けて、着々と顧客の厳格な要求に対する手直し工事などを進めている。

4. その他

質問	回答
自己株式取得を検討するとのことであったが、検討に至った背景を教えてください。	当社は、現中期経営計画において、自己株式取得も株主還元策の一つであることを掲げている。 今年度は、営業キャッシュ・フローの改善により手元流動性の水準が大きく回復する傾向にあり、今後の成長投資の資金需要の見通しも踏まえ、自己株式取得の可能性も検討したいと考えている。

以 上